



[財]日本太鼓連盟

NIPPON TAIKO FOUNDATION

発行・編集 2012年 1月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

財団法人日本太鼓連盟 理事長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL:<http://www.nippon-taiko.or.jp> Email:info@nippon-taiko.or.jp

会報

年頭のごあいさつ



財団法人日本太鼓連盟
会長 松本 英昭

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、日本にとって天災の多い年でした。中でも3月11日に発生した東日本大震災は、東北地方に甚大な被害をもたらしました。2万名にも及ぶ死者、行方不明者を出し、今でも避難生活を余儀なくされている方が多数いらっしゃいます。太鼓連盟関係者においても10名の会員が亡くなりました。

改めて被災されました方々に心よりお見舞い申し上げます。

被災地域の太鼓団体も太鼓が流出したり、破損をしたチームが数多くあり、復興への一助として日本財団からこれに対する支援の動きがなされております。これは姉妹財団の日本音楽財団が保有するヴァイオリンの名器を売却し、その売り上げ全額を伝統芸能の復興資金として太鼓購入及び修理に助成するもので両財団に対し厚く御礼申し上げます。

恒例の3月に名古屋市で実施予定であったジュニアコンクールは震災の影響を考慮して8月に延期し、同じ名古屋市の会場において開催いたしました。

被災地域のチームの参加が危ぶまれましたが、予定通りの参加を得ることができました。海外からは、初めて台湾チームが参加しブラジルチームとともに日本のチームと遜色ない演奏を披露してくれました。また本コンクールにおいて初めてインターネットによる生中継を全世界に配信し、日本の裏側にあるブラジルからも大会を見たとの声が寄せられました。

このような状況の中、太鼓連盟として会員の皆様のご協力を得て、ジュニアコンクールの延期はあったものの所定の事業を計画どおり実施することがで

きました。

5月には、東京港区で例年福祉団体と共催にて実施しているチャリティコンサートを本年は、震災へのチャリティコンサートとして開催いたしました。

10月には、初めて長野県での開催となる全国太鼓フェスティバルを上田市において実施いたしました。

同じ10月、第13回全国障害者大会を兵庫県三田市において過去最多の28チームが参加して開催いたしました。

また、11月には石川県輪島市において恒例の8回目となるシニアコンクールを開催し、これも過去最多の30チームが出場いたしました。

財団の事業の柱である演奏技術の向上と後継者の育成を図るための講習会も全国講習会を3回、支部講習会を3回開催いたしました。

更に国際交流事業として前述のジュニアコンクールへの台湾、ブラジルチームの参加の他、大分県ゆふいん源流太鼓による台湾公演を実施致しました。また日独交流150周年事業に協力して被災地の宮城県加茂綱村太鼓をドイツに派遣し、それぞれ高い評価を得ることができました。

このように日本太鼓が内外において益々普及する中、新しく迎えた2012年においても全国フェスティバルを始めとする演奏会事業や全国講習会等の技術普及事業については当該支部のご協力を得ながら内容を充実して進めてまいりたいと思っております。

現在、当財団は公益法人改革に伴い公益財団法人へと移行するため申請を行っております。今後は各種事業の運営にあたってより高い公益性が求められますが移行後も従来同様支部・会員の皆様との協調、連携をとりながら事業運営に当たってまいりたいと考えております。

最後に2012年が日本太鼓界と会員の皆様にとって良い年になりますことをご祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

第15回日本太鼓全国フェスティバル

～長野県上田市で開催～



(龍・連山と和太鼓「龍」・山形)

第15回日本太鼓全国フェスティバルを、10月2日(日)、長野県上田市の上田市民会館において、盛大に開催いたしました。

このフェスティバルは日本財団の助成事業として行われ、当財団主催、長野県支部が主管となり、文化庁のほか、長野県、上田市等地元の後援をいただき行われました。

当日は天候にも恵まれ、開場の1時間以上も前からお客様が列を作られるなど、全国フェスティバルに対する期待が伺えました。公演は主催者を代表して当財団の塩見和子理事長の挨拶、母袋創一上田市長のご祝辞と続き、主管団体を代表して古屋邦夫長野県支部長の挨拶で幕を開けました。続いて全国トップレベルの8チームが渾身の演奏を披露しました。

以下出演団体をご紹介します。



(秩父屋台囃子若葉会・埼玉)



(小倉祇園太鼓田町チーム・福岡)

1. 龍・連山と和太鼓「龍」(山形)…東北を代表して参加された山形県の龍・連山と和太鼓「龍」は、大太鼓を3基使ってスケールの大きい太鼓演奏を披露されました。龍・連山氏とご子息お二人を中心に息のあった演奏でした。
2. 秩父屋台囃子若葉会(埼玉)…埼玉県秩父地方に伝わる伝統行事「秩父夜祭り」に無くてはならない太鼓です。大きな山車の中に入り、町内を練り歩く際、その状況に応じて曲想が変わる様を舞台上で表現して頂き、祭りの風景が映るようでした。
3. 小倉祇園太鼓田町チーム(福岡)…映画「無法松の一生」で有名な九州男児の打ち鳴らす豪快な太鼓演奏です。男性ばかりの演奏は、小倉祇園祭りを彷彿とさせる威勢の良い舞台となり、秩父と小倉に伝わる2大祭りを一度に味わえました。
4. 甲州ろうあ太鼓(山梨)…山梨県にある聴覚障害者の皆さんによるチームで、当財団主催の障害者大会の参加常連チームです。障害を感じない迫力ある太鼓の響きにお客様より心が震えたという賞賛が寄せられていました。
5. 大江戸助六太鼓(東京)…東京を拠点に活動する大江戸助六太鼓は、江戸の粋を感じさせる演奏を披露しました。いずれも、大江戸助六太鼓の代表曲で、上田の皆様も一時、江戸の雰囲気酔われているようでした。
6. ZENKA I 太鼓「和」(大分)…昨年8月に行われた日本太鼓ジュニアコンクール優勝チームが優勝時の曲を披露しました。地元で伝わる禅海和尚の「青の洞門」を題材にした見事かつユーモアあふれる演奏に、会場から感嘆の声と大きな拍手があがりました。
7. 御陣乗太鼓保存会(石川)…その昔、上杉勢が海から攻め込んだ際に、おどろおどろしい面を被り太鼓を演奏して敵を追い払ったと言われる伝説を今も伝える日本を代表する伝統太鼓チームです。迫力のある力強い太鼓を披露しました。
8. 長野県合同チーム(長野)…長野県支部加盟団体の会員から選ばれた107名の皆さんが一つとなり、「信濃萬岳の響き」と「勇駒田楽」を演奏し、その迫力に会場から大きな拍手が贈られました。長野冬季オリンピックでの合同演奏の経験を活かした見事な演奏でした。

第16回日本太鼓全国フェスティバル

期日：2012年9月30日(日)

会場：郡山ユラックス熱海(福島県郡山市)

※詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

第15回日本太鼓全国フェスティバルの成功を 長野県支部 副理事長 三浦一浩

2011年10月2日（日）、戦国の武将 真田昌幸・真田幸村の郷「上田城」二の丸跡にある上田市民会館にて、第15回日本太鼓全国フェスティバルが開催されました。

長野県支部としては、(財)日本太鼓連盟の事業である日本太鼓を多くの人に紹介する活動の大きな柱である「日本太鼓ジュニアコンクール」を2001年と2006年に、「日本太鼓全国障害者大会」を2004年に、そして「日本太鼓全国・支部講習会」を数多くこなして来ておりますが、この「日本太鼓全国フェスティバル」が唯一長野県では未開催の活動でした。

「いつか、大きな大会を上田でやりたい」が私の当面の目標でしたが、堀を築き石垣を積む間もなく大きなチャンスが舞い込み、「え？もうその時？」と放心状態のまま、開催の意思確認に対し無意識に「はい。」と返事をした記憶だけが残っています。

上田市は、1998年長野冬季オリンピックの開催に伴い、新幹線や高速道路など高速交通網は完備されましたが、戦国時代の城下町の形成が残っているため会場付近は段丘や鍵状になった道があり、交通整理や駐車場確保の懸念がありました。一番の難点は会場ホールの舞台裏が無いに等しい狭さで、太鼓の出し入れは舞台の上手のみでの対応をせざるを得ない環境でした。

会場等の難点を抱えつつ、開催までのカウントダウンが始まりました。予てより、太鼓に対する理解が高かった上田市長（母袋創一氏）の後ろ盾をいただき、(財)日本太鼓連盟事務局の皆さまと長野県支部長の指導を受け、準備が本格的に始まりました。

長野県支部は、他県には類のない「田楽太鼓」を合同演奏として披露するために、県下3箇所で開催を行い、長野県統一曲の精度をあげました。

当日は、懸念していた舞台での太鼓の出し入れもリハーサル以上の出来栄となり、円滑に進行し観客の皆さんにも舞台展開の素晴らしさをお褒めいただいたほどでした。出演された各太鼓団体の素晴らしい演奏の後、一番最後に行われた演奏が長野県支部の合同演奏「萬岳の響き」と「勇駒田楽」でした。ほとんどの打ち手がステージや会場準備のスタッフを兼ねていたにもかかわらず「萬岳の響き」は混成チームとは思えないほど息が合った演奏となりました。続いての「勇駒田楽」は会場を明るくし、通路をふんだんに利用し観客の皆さんと一緒に楽しめる演奏となりました。(財)日本太鼓連盟 塩見和子理事長の「三本締め」の後、お見送り太鼓として再び始まった「勇駒田楽」の演奏とともに観客の皆さんは会場を後にされましたが、会場の外で鳴り響いた太鼓の

音は、四方を山で囲まれている上田盆地にいつまでも呼応していたことがとても印象的でした。大きな大会を地元上田にて開催できた感動と感謝をいつまでも忘れることなく、今後も財団法人日本太鼓連盟の事業活動に協力し太鼓普及に務めていきたいと再認識しました。

今回の全国フェスティバルを成功させるにあたり、多くの仲間にも助けられ、支えられてやり切ることができました。

遠方より、上田へ演奏に来てくださった出演団体の皆さま、財団法人日本太鼓連盟の皆さま、長野県支部の役員やスタッフの皆さま、本当にありがとうございました。



(甲州ろうあ太鼓・山梨)



(大江戸助六太鼓・東京)



(ZENKAI太鼓「和」・大分)



(御陣乗太鼓保存会・石川)



(長野県合同チーム・長野)

第13回日本太鼓全国障害者大会

～兵庫県三田市で開催～

10月16日(日)、第13回日本太鼓全国障害者大会を、兵庫県三田市の「郷の音ホール」にて開催いたしました。

この大会は日本財団の助成事業として行われ、(財)日本太鼓連盟主催、社会福祉法人富岳会共催、(財)日本太鼓連盟兵庫県支部主管のもと、厚生労働省、文化庁、兵庫県、地元三田市等の後援を賜り実施いたしました。

日本太鼓は、障害者の療育に効用があると言われており、社会福祉法人富岳会(山内令子理事長)は、35年以上前から補助セラピーや自己表現の手段として取り入れてられました。この大会は1998年富岳会主催のもと「障害者太鼓演奏会」として静岡県御殿場市で開催され、翌年「より多くの団体にも出演の機会を」との声を受け、1999年より当財団との共催で、全国大会として実施しております。

第13回目を迎える今回は、関西での初の開催となります。日本太鼓に積極的に取り組んでいる16都府県から28団体(出演者数404名)が一堂に会し、日ごろの練習の成果を力いっぱい披露しました。

今回は、地元兵庫県から「ひとみ太鼓」、「のぞみ太鼓」「神戸ろう太鼓集団 鼓神」の3団体のほか、「金谷大井川川越し太鼓浜松チャレンジチーム」(静岡)、「神戸川太鼓」(島根)、徳島県立国府支援学校 和太鼓部(徳島)の6チームが初めて参加しました。

また、「富岳太鼓竜神組」(静岡)、「金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム」(静岡)、「恵那のまつり太鼓」(岐阜)の3チームは初開催以来、13回連続で出場をされています。

各団体の演奏の合間には、障害者の皆さんが太鼓との関わりについて体験発表をし、自身の成長や、チーム内の変化などを自らの言葉で一生懸命に語ってくれました。いずれのチームも日頃の練習の成果を存分に発揮し、演奏レベルも非常に高く、また全員が心から太鼓を楽しんでいる様子が印象的でした。1,000名におよぶ観客は、ひたむきな演奏と体験発表に惜しみない拍手を送っていました。



(初出場「ひとみ太鼓・兵庫」)

＜出演団体一覧＞

(出演順28団体) ☆は初出場

- 1 静岡 富岳太鼓竜神組
- 2 愛媛 四国中央わくら太鼓ろうあ部会「鼓龍会」
- 3 京都 京都府立与謝の海支援学校寄宿舎
- 4 石川 石川県立明和特別支援学校 龍剣太鼓
- 5 山梨 甲州ろうあ太鼓
- 6 静岡 金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム
- 7 京都 元太鼓
- 8 大阪 豊中ろう和太鼓クラブ 鼓響
- 9 静岡 遠州袋井太鼓保存会 スマイルズ
- ☆ 10 兵庫 ひとみ太鼓
- ☆ 11 静岡 金谷大井川川越し太鼓浜松チャレンジチーム
- 12 山口 (社福)同朋福祉会あそかの園同朋太鼓
- 13 福島 あだたら和太鼓
- 14 静岡 静岡県立静岡北特別支援学校 北龍太鼓
- 15 富山 鼓友夢光組
- ☆ 16 島根 神戸川太鼓(かんどがわだいこ)
- 17 静岡 ハンディキャップ太鼓の会
- 18 福島 やまびこ太鼓
- 19 静岡 伊豆医療福祉センター どんつく
- ☆ 20 徳島 徳島県立国府支援学校 和太鼓部
- 21 岐阜 ファミリーユニット童鼓
- 22 東京 鼓友会
- ☆ 23 兵庫 のぞみ太鼓
- 24 大分 社会福祉事業団大分県糸口学園 糸口太鼓
- 25 新潟 新潟ろうあ万代太鼓 豊龍会
- 26 石川 社会福祉法人 南陽園 ふれあい和太鼓
- ☆ 27 兵庫 神戸ろう太鼓集団 鼓神
- 28 岐阜 恵那のまつり太鼓



(初出場「金谷大井川川越し太鼓浜松チャレンジチーム・静岡」)



(初出場「神戸川太鼓・島根」)



(初出場「徳島県立国府支援学校 和太鼓部・徳島」)



(初出場「神戸ろう太鼓集団 鼓神・兵庫」)

(←初出場「のぞみ太鼓・兵庫」)



第14回日本太鼓全国障害者大会
 期日：2012年10月21日(日)
 会場：御殿場市民会館(静岡県御殿場市)
 ※詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

第8回日本太鼓シニアコンクール全国大会開催 ～文部科学大臣賞を目指して全国より30組128名が参加～

11月20日(日)、石川県輪島市「輪島市文化会館」において第8回日本太鼓シニアコンクールが開催されました。この大会は、60歳以上のシニア層を対象として近年に多い激しく速い太鼓とは違う味わい深い演奏を披露するとともに、熟練した太鼓技術を後進に引継ぐことを目指して実施しているものです。第3回目より文部科学大臣賞を下付されております。

8回目を迎えた今回は、14都県より30組128名が参加し、栄えある名人位・文部科学大臣賞を手にしたのは長谷川義氏(「ゆふいん源流太鼓」・大分60歳)でした。勇壮な太鼓が観客を圧倒する好演でした。

なお、同日ジュニアコンクールの石川県大会も開催され、参加した子供たちも大会を見学しました。

〈結果〉 (敬称略)

名人位

長谷川 義(ゆふいん源流太鼓・大分)

準名人

佐藤 貞夫(越前権兵衛太鼓・福井)
 野本 敏章(正八幡宮飛龍八幡太鼓奉友会・福岡)
 源通 博(水舞流越中八幡太鼓保存会・富山)

特別賞

北村 喜昌(加賀太鼓保存会・石川)
 林 敏三(福光もちつき太鼓・富山)
 今井 冽(山鹿太鼓保存会・熊本)
 荏原流れ太鼓ひびき会(東京)
 岩城 正治(加賀太鼓保存会・石川)
 金谷大井川川越し太鼓(静岡)
 秦野観光和太鼓(神奈川)
 久山樗太鼓響生会(福岡)
 シニアうねめ太鼓クラブ紅寿組(福島)



(シニア表彰式)

審査委員 (五十音順・敬称略)

浅野 義幸(榊浅野太鼓楽器店第17代当主)
 江頭 啓輔(三菱ふそうトラック・バス(株)相談役)
 大場 吉美(金沢学院大学教授)
 塩見 和子(審査委員長・財団理事長)
 福光松太郎(榊福光屋代表取締役社長)

第9回日本太鼓シニアコンクール
 期日：2012年11月25日(日)
 会場：七尾サンライフプラザ(石川県七尾市)
 ※詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

第2回台湾太鼓ジュニアコンクール&第3回台湾太鼓フェスティバル開催

2011年11月6日(日)台湾で第2回台湾ジュニアコンクールと第4回台湾太鼓フェスティバルが、新北市三重区総合体育館演芸庁にて行われ、審査委員として当財団より塩見理事長、長谷川副会長が出席しました。観客は両公演あわせて1,600名を越え盛況の内に無事終了しました。なお、今回のジュニアコンクールの優勝チーム「天祥太鼓團」(台中市)は本年3月に群馬県前橋市で開催する「第14回日本太鼓ジュニアコンクール」に特別出演チームとして参加いたします。



(優勝・天祥太鼓團)

3,000人太鼓でギネス世界記録を更新

去る10月9日(日)熊本市の熊本城内においてギネス世界記録を更新する太鼓演奏が行われました。これは九州新幹線の全線開通による南九州への観光客誘致と東日本大震災の被災地へエールを送るため、熊本・宮崎・鹿児島 の三県とJRグループによる「ディスティネーションキャンペーン」の一環として行われたものです。ギネス記録を更新するには、従来の記録(岩手さんさ祭りの2,571名)を上回る人数により5分間以上の同時演奏で楽曲として成立していることが条件とされました。

(人数確認と演奏チェックのため、60名の計測員が配置されました。)

主管の熊本県太鼓連盟と(財)日本太鼓連盟熊本県支部は、熊本県内の太鼓チームのみでは、人員・太鼓共に揃わないことから九州全域のチームに呼びかけ当日は、2,905名の演奏者と2,775基の太鼓が集結しました。

3,000人にも及ぶ太鼓の演奏は、壮大かつ勇壮であり地鳴りのような演奏に観客は圧倒されていました。計測員により演奏を行っていない人や明らかに演奏が合っていない人が数字から除外され、最終的に2,778名で認定され、その場でギネス・ワールド・レコーズ社のカルロス・マルティネス氏から認定証が渡辺孝昭熊本県支部長に手渡しされました。



(3,000人太鼓の様子→)

第42回日本太鼓全国講習会(2011年9月3・4日 秋田県大仙市)を主管して

秋田県支部専務理事 鈴木 孝喜

秋田県での全国講習会は2000年以来11年ぶりの開催となりました。この3月の東日本大震災の風評で参加者が少ないのではとの心配もありましたが、県内外の各団体へ数回による呼びかけをしたことでどうにか85人の申し込みを得て開催することができました。ただ、数日前から気になっていた台風12号の影響で八丈島から予定されておりました八丈太鼓講座の菊池先生が来られないことになり急遽中止となってしまいました。この講座の受講を申し込みされていた方々はすでに会場到着されており、主催する(財)日本太鼓連盟から他の専門講座へ変更をして下さるよう詳しい説明をもらい、全員からご理解のうえにて大太鼓講座と蘭導太鼓講座へ変更していただきました。これまでの全国講習会で講座が中止となったのは今回初めてのことだと思いますがとりあえず専門講座2講座、基本講座3講座にて開催となりました。八丈太鼓講座から他の講座への変更をいただいた受講者の方には突然のことに不安があったようですが、2日間の講習を受けてみたら経験の無かった打法を思いがけなく習得したことで受講してよかったとの声がたくさんあり安堵いたしました。

この講習会の運営に当たりましては宿泊するホテルは個室とし、昼食用弁当のメニューの確認や試食など、参加される皆様が少しでも快適に過ごしていただけるよう配慮致しました。講習会場につきましては同一会場で全講座を行える施設が無いので5級基本講座を除いては別の会場へと受講者の皆さんから協力をいただきスムーズな移動をしていただきました。

また、遠路からお出でいただきました講師、補助指導員の皆様には台風の影響で当秋田ではこの時期には観測上記録にない猛暑となった中で熱心なご指導を頂きありがとうございました。

全日程中に事故やケガなど大きなトラブルも無く終了出来ましたことは主催者である(財)日本太鼓連盟の指示のもと開催地実行委員、スタッフとも快く迅速に対応してくれたお陰であると思っております。

全国からみて東北地方の中でも秋田県は遠い、なかなか行く機会が無いというイメージがあるようですが、交通面もよくなっておりますのでぜひ観光や太鼓を通じてお出で下さるようお待ちしております。

北海道岩見沢市で2回目となる支部講習会を終えて 北海道道西支部事務局長 秦野 智徳

短い夏が終わり北海道が秋色に成り収穫の季節となる9月24日、25日北海道札幌市より東側にあります空知管内岩見沢市に於きまして新支部長就任後初の事業でもあり、4年ぶり2回目となる第51回日本太鼓支部講習会を開催致しました。開催に当り講師の先生、連盟本部の方々を始め道内各支部を統括する北海道太鼓連合会の皆様には大変御尽力頂きました事を心から感謝申し上げます。

また講習内検定に当支部の田中支部長と私が入る事で運営等に支障が無いかと心配して居りましたが支部関係者の皆様のお蔭で無事終了出来た事も大変感謝して居ります。

今回の講習会は4級、5級基本講座で募集しましたところ北海道では今年最初で最後の講習会でもありましたので道内各地より受講される方が集まり5級受講者23名となりましたが、4級は受講者2名と非常に少なかったのは残念でありましたが、予定通り開催する運びとなりました。

講習会が始まると最初は緊張と不安の中表情も硬くドキドキしていた受講生のみなさんも段々と講師の先生から丁寧な指導を受けているうちに本来の表情に戻り真剣に取り組んでおられました。休憩中も休む事なく仲間同士で教えあったりしているのを見て受講生の皆様にとって大変充実した二日間の講習会であったのではないかと思います。

そして何より検定を受けられた方々が全員合格し、みなさんが笑顔で帰られた事が主催者として一番嬉しくこの講習会を実施した意義を感じさせて貰えた時でもありました。

今後支部執行部としては、近隣支部と協力し支部講習会を積極的に開催し技術認定員の増加、育成を図るとともに和太鼓を通して伝統文化の継承、地域貢献、青少年健全育成を柱に役員一同全力で取り組んでいく所存です。今回は本当に良い経験をさせて頂き有難うございました。

地域伝統芸能復興基金による太鼓への支援広まる ～東北3県に太鼓購入・修理費用の助成～

日本太鼓連盟の姉妹財団である日本音楽財団が保有していたヴァイオリンの名器「レディーブランド」を売却した金額約12億円を日本財団に寄付し、それを「地域伝統芸能復興基金」として東日本大震災により被害を受けた太鼓の購入、修理費用として助成するための支援が広がっています。

去る7月に宮城県石巻市の「石巻日高見太鼓」へ新品の2尺5寸の長胴太鼓を始め9基が贈られたのを皮切りに福島県内の18団体への新規購入及び修理が決定されています。太鼓の他、山車や獅子頭の製作、修理にも助成されており、これまでの助成総額は約2億円となっています。現在引き続いて宮城県、岩手県の太鼓団体への助成が日本財団において検討されており、震災で太鼓が流出、破損した太鼓団体にとって復興への大きな励みとなっています。日本音楽財団及び日本財団には、衷心より厚く御礼申し上げます。

*石巻日高見太鼓代表 今野鏡子氏からお礼の手紙が届きましたので掲載します。

地域伝統芸能復興基金による太鼓の贈呈を受けて

このたびは、「石巻川開き祭り」での演奏に向けての太鼓を寄贈していただき本当にありがとうございました。

7月27日に贈呈式が行われ、日本財団尾形理事長から2尺5寸の長胴太鼓を始め新品の太鼓9基を贈呈していただきました。8月1日の石巻川開き祭りでの舞台は、今までにない盛り上がりで「アンコール」の声に私達も会場の方々も元気印になることができました。夢のような太鼓の響きに自分でも泣きそうになりました。震災後は、太鼓を打つことをあきらめようと思ったんですもの。地獄で仏にあった心持です。これからは前進あるのみです。メンバー全員一丸となって頑張っていきたいと思います。

今後の道のりはまだまだ厳しいことと思います

石巻日高見太鼓 代表 今野鏡子

が、このように応援していただき、また私達の演奏を楽しみにして下さる方々がいらっしゃる事の「幸せ」を感じてこれから一層和太鼓の練習を重ね頑張っていきたいと思います。

最後に日本財団、日本音楽財団の皆様にご心から御礼申し上げます。



(太鼓贈呈式での演奏)
【日本財団写真提供】

事務局だより

第43回日本太鼓全国講習会（福岡県久山町）

期 日：2012年2月18・19日(土日) 主 管：全九州太鼓連合、(財)日本太鼓連盟福岡県支部

会 場：レスポール久山(福岡県糟屋郡久山町大字久原2603-1)

専門講座：	秩父屋台囃子講座(複式複打法)	高野 右吉氏(埼玉県)
	大江戸助六太鼓講座(単式複打法)	小林 正道氏(東京都)
	縮太鼓講座(単式単打法)	渡辺 洋一氏(東京都)
基本講座：	総合指導	古屋 邦夫氏(技術委員会委員長)
	3級基本講座	安江 信寿氏(1級公認指導員)
	4級基本講座	若山 雷門氏(1級公認指導員)
	5級基本講座(初心者講座)	松元 和敏氏(1級公認指導員)

申込先：(財)日本太鼓連盟事務局

〒107-0052東京都港区赤坂1-2-2 Tel 03-6229-5577 Fax 03-6229-5580

ジュニアコンクール出場団体決定！

名 称： 第14回日本太鼓ジュニアコンクール

(内閣総理大臣賞・総務大臣賞・文部科学大臣賞下付予定)

期 日： 2012年3月25日(日) 開場10:00 開演10:30 閉会式終了予定19:00

会 場： ベイシア文化ホール・群馬県民会館(群馬県前橋市日吉町一丁目10番1号)

Tel. 027-232-1111

入 場 料： 前売券 2,000円 当日券2,500円

第14回大会は、各都道府県の支部予選で優勝したチーム等が一堂に会し、これまで以上の熱演が予想されます。出場者には、お互いを思いやり、礼節を重んじ、ジュニアらしく真摯で元気ある演奏を期待しております。

出場団体： 47チーム【46チーム(33都道府県)＋ブラジル代表チーム】(順不同)

蝦夷ジュニア(道東)、厚別本陣はまなす太鼓(道央)、赤平火太鼓保存会(道西)、神楽岡太鼓子龍(道北)、岩手県立大船渡東高等学校太鼓部(岩手)、高倉薬太鼓(宮城)、やまぼと太鼓(秋田)、福島県立相馬高等学校相馬太鼓部(福島)、子供天神ばやし(茨城)、和太鼓キッズゆりかご(栃木)、群馬県立藤岡中央高等学校和太鼓部「ひびき」、上州榛東ふるさと太鼓、上州あずま太鼓(群馬)、乾武神流川太鼓「鼓心」(埼玉)、和太鼓 凧(千葉)、邦楽アカデミー和太鼓大元組ジュニア(東京)、鼓粋(神奈川)、越中いさみ太鼓保存会飛龍(富山)、輪島・和太鼓虎之介、九谷太鼓若獅子組、輪島高洲太鼓(石川)、八ツ杉太鼓遊心(福井)、甲斐和太鼓衆信玄太鼓・飛竜(山梨)、青木村義民太鼓保存会こまゆみ会(長野)、各務原太鼓保存会(岐阜)、静岡県立伊豆総合高等学校郷土芸能部、飛龍高等学校和太鼓部(静岡)、四日市諏訪太鼓遊鼓会(三重)、大和の響き・京(京都)、山城ノ国 和太鼓 鼓粋(大阪)、別所ともえ太鼓会ジュニアチーム(兵庫)、海田鼓童子(広島)、掛合太鼓保存会和童(島根)、しんにゅう和楽太鼓、博多おっしょい太鼓(福岡)、不知火太鼓、和太鼓「葉隠」(佐賀)、おおむら太鼓連くじら太鼓(長崎)、熊本市立必由館高等学校和太鼓部、人吉ねぶか太鼓(熊本)、源流はさま太鼓(大分)、太鼓研修センター「響」、轟太鼓道場(宮崎)、火の神乙女太鼓「爽」、山川ツマベニ少年太鼓(鹿児島)、比屋根華太鼓(沖縄)、クリチーバ若葉太鼓(2011年度第8回全ブラジル太鼓選手権大会優勝チーム)

特別出演： ZENKAI太鼓「和」(大分・第13回日本太鼓ジュニアコンクール優勝チーム)

天祥太鼓團(2011年度第2回台湾太鼓選手権大会優勝チーム)

*大会規定により、支部予選で21チームを超える参加があった場合は2チーム、31チームを超える場合は3チームが出場できることとなっております。これにより、石川から3チーム、静岡・福岡・佐賀・熊本・宮崎・鹿児島各支部から2チーム、また、大会開催地の群馬県支部からは3チームが参加します。

なお、今回不参加の支部は北海道道南・青森・山形・新潟・愛知・奈良・岡山・鳥取・香川・徳島の10支部です。

*今大会よりブラジル代表チームは本選出場の予定です。

*推薦等で申込のあった団体は、運営・技術合同委員会において審議の上、正式決定されます。

2012年度の事業予定

日本太鼓チャリティコンサート

2012年6月5日(火)草月ホール(東京都港区)

第16回日本太鼓全国フェスティバル

2012年9月30日(日)郡山ユラックス熱海(福島県郡山市)

第14回日本太鼓全国障害者大会

2012年10月21日(日)御殿場市民会館(静岡県御殿場市)

第9回日本太鼓シニアコンクール

2012年11月25日(日)七尾サンライフプラザ(石川県七尾市)

第15回日本太鼓ジュニアコンクール

2013年3月24日(日)金沢歌劇座(石川県金沢市)

日本太鼓全国講習会：詳細が決定次第、随時お知らせいたします。

日本太鼓支部講習会：詳細が決定次第、随時お知らせいたします。

*2012年度は、公認指導員の更新年となります。更新研修会の日程等の詳細が決まり次第、ご連絡いたしますので、必ずご参加下さい。